

1 はじめに

本校では毎年全校生徒一人一人が学校のスローガンを考え、それをもとに、生徒会で話し合って決定している。今年度は、「誉れ」というスローガンをたて活動してきた。このスローガンには、河原子中学校の生徒としての誇りをもち、学校行事などで生徒一人一人が輝けるようにという思いが込められている。また、体育祭、文化祭のスローガンにも「誉れ」という言葉を用いて、一年間通して、生徒が「誉れ」という言葉を意識できるようにした。

また本校では「河中5つの誇り」という、一年を通して重点目標としているものがある。生徒一人一人が5つの目標を意識して生活することで、河中生としての誇りをもちことができるようにするものである。

河中5つの誇り

- ①誰とでも交わし合う明るいあいさつ
- ②時間を意識した学校生活
- ③きれいな学校・地域をつくる清掃活動
- ④心を通わせ美しく響く歌声
- ⑤目標に向かって仲間と励む部活動

2 資料（実践事例、写真等）

(1) 生徒総会

今年度の生徒総会では、事前に Teams で全校アンケートを実施し、委員会の質疑応答や学校規則の検討を行った。また、毎週実施しているあいさつ運動のやり方の見直し、コロナ5類移行に関するルールの確認(マスク着用など)を行った。



(2) あいさつ運動

あいさつ運動は毎週水曜日の朝、部活動ごとに実施している。昨年度までは、正門前で行っていたが、本校の立地条件等を踏まえ、正門前と産業道路付近に分かれて実施することを生徒総会で決定した。通勤途中の方があいさつを返してくれたり、幼稚園バスの園児たちが手を振ってくれたりしており、生徒たちもやりがいを感じている。

(3) 地域を元気づけよう大作戦

一人暮らしをしている地域のお年寄りに花を手渡して元気になってもらう活動として始めたものであるが、昨年度に引き続き、手紙とマリーゴールドの種子を送った。多くの方から、お礼の手紙や電話をいただいた。

(4) 若竹祭

生徒全員が7つの部門で構成する実行委員会に所属し、事前準備から当日の運営、片付けまで生徒主体で行った。会場部と作品部は、スローガンをもとに全校制作や会場の装飾を行った。生徒会役員がそれぞれの部門を担当し、進捗状況などの情報共有を図った。



3 成果と課題

生徒会役員が中心となって、生徒が主役となる特別活動の充実を図ってきた。生徒一人一人の役割を明確化することで、生徒が行事等に自主的に取り組む姿が見られた。今後も生徒の自主性を尊重した生徒会活動を行い、学校教育目標である自立・自律した姿を目指したい。